

# 特定非営利活動法人 サステナブル・ソリューションズ～小さな渦を育てる杜～ 設立趣旨書

## 1. 趣旨

産業革命以来、私たちは、人間が自然を支配し、自然資源を限りなく使うことによって、社会の進歩と生活の豊かさを追求してきました。特に我が国は、大量生産、大量消費、大量廃棄によって社会を運営するシステムを導入することによって、高度経済成長を果たし、私たちは便利な生活を手にすることができました。しかし、地球温暖化や、廃棄物による環境破壊などの被害が顕在化することによって、このような文明パラダイムに則って社会経済を運営することは、人類の生存そのものを脅かすことになるという認識を持つに至りました。大量生産、大量消費、大量廃棄という社会経済システムから、あらゆるものを循環させる循環型社会経済システムへの転換が求められています。そのためには、地下資源に一方的に頼る地下資源文明から、自然と太陽を活かす生命文明への移行が必要になってきます。今あらためて、先進国の中できわめて特徴的な自然観を有する日本、自然に学び、「もったいない」を実践してきた、日本型文明を基盤に、循環型社会を見つめなおし、それを元に、新しい生命文明構築が必要であると考えています。

現在我々が直面する地球環境等の諸課題を克服するためには、生活者のライフスタイルそのものを大きく変化させることが重要であると考えています。地球環境問題を鳥瞰的視野で理解し、解決すべき問題を明確にし、具体的なソリューションを見つけるトレーニングを受けたメンバーをコアとし、広く研究者、企業、行政、政策立案者および市民が機能的・有機的に連携し、その知見や活動を市民社会に提供する体制の構築が不可欠であると考えています。そのためには、あらゆる立場の人たちの拠り所となるべく、中立的機関の存在が不可欠であるとの認識に立ち、特定の研究機関、企業、省庁等から独立した中立的かつ、情報公開を通じて社会的な認知と信用を得られるような存在である特定非営利活動法人が最も適切な形態だと考えました。

こうした経緯から、私達は、東北大学大学院環境科学研究科の卒業生をその中核とする特定非営利活動法人「サステナブル・ソリューションズ～小さな渦を育てる杜～」を設立します。この特定非営利活動法人を通じて、私達は、鳥瞰的な視野を持ち、各分野でのあらゆる垣根を越えた知恵を集積し、その知恵に基づき、日本型サステナブル社会のありようを広く発信し、さらには、環境と経済のディカップリングを促進するビジネスシステムの提案や、望まれる新しいライフスタイルのあり方にかかわる提言を行い、更には広く国民への啓発活動や、関連分野に従事する研究者・企業等への知的人的サポートを行うことで市民社会に貢献していくこととしました。

特定非営利活動法人「サステナブル・ソリューションズ～小さな渦を育てる杜～」は、上記活動を通して、我が国のものづくり、環境、生命、経済等の各分野におけるさまざまな情報を広く深く共有化し、この分野における研究、教育、産業活動を幅広く支援することで日本の社会、経済の発展に寄与し、日本国民はもとよりアジア地域全体において、人間が自然に感謝と畏敬の念を持ち、生きることを楽しむ新しい価値観を共有することに寄与すべく努めます。

## 2. 申請に至るまでの経過

- ・2007年12月1日 東北大学大学院環境科学研究科高度環境政策技術マネジメント人材養成ユニットの同窓会が組織される。
- ・2008年3月25日 研究過程で生まれたプロジェクトの具体的な実践および、研究成果をより高めるための勉強会・発信活動のために、特定非営利活動法人を設立して具体的な取り組みを開始すべきであるとの合意に至る。
- ・2008年4月11日 持続可能社会へ向けてのワークショップを開始。修了生を講師としたセミナープログラムの検討開始。
- ・2008年7月5日 特定非営利活動法人 サステナブル・ソリューションズ～小さな渦を育てる杜～ 設立総会を開催する。